

# 2020年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年2月3日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2020年2月3日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2020年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II .2020年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2020年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





## 2020年3月期第3四半期(2019/10-12) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、前四半期末比2,447口座増加と増加ペースは鈍化。預り証拠金は、個人投資家からの預りが含み損益の改善等を背景に減少に転じ、全体では0.2%の減少に。

総口座数	339,443口座	2020/3期2Q末比	0.7%増
預り証拠金	63,183百万円	2020/3期2Q末比	0.2%減

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率低下を背景に米ドル/円を中心に大きく減少。

10-12月取引高	1,586億通貨単位	2019/7-9月比	40.1%減
-----------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、主力のトレーディング損益が外国為替取引高の大幅な減少により15.3%減少し、全体では前四半期比18.6%減少の1,136百万円に。

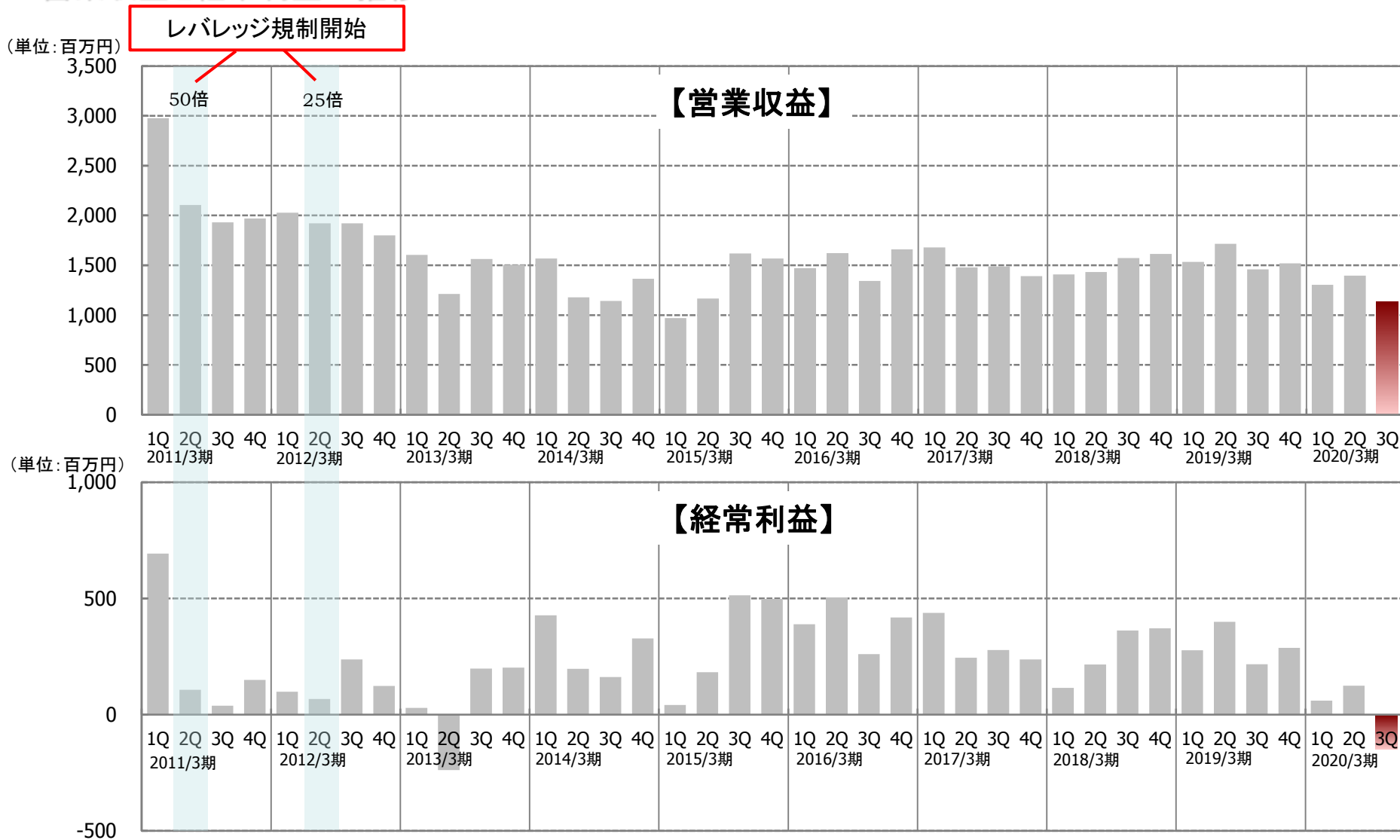
- ④ 経常損益は、FXに係る基幹システムの更新に伴うシステム運用費用の一時的増加を背景に販管費が5.9%増加したこと等により、148百万円の損失に(前四半期は124百万円の利益)。基幹システム更新に伴うシステム移行費用80百万円の特別損失計上により親会社株主に帰属する四半期純損失は190百万円に(前四半期は57百万円の利益)。



# レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 営業収益と経常利益の推移





# 2020年3月期第3四半期 決算概況と影響ファクター

	2020/3期 2Q 【2019/7 ~ 2019/9】	2020/3期 3Q 【2019/10 ~ 2019/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,646億通貨単位	1,586億通貨単位	▲40.1%
営業収益	1,396百万円	1,136百万円	▲18.6%
純営業収益	1,293百万円	1,084百万円	▲16.2%
経常利益	124百万円	▲148百万円	—

## 【損益影響ファクター】

### 前四半期比

FX取引高



FX収益性

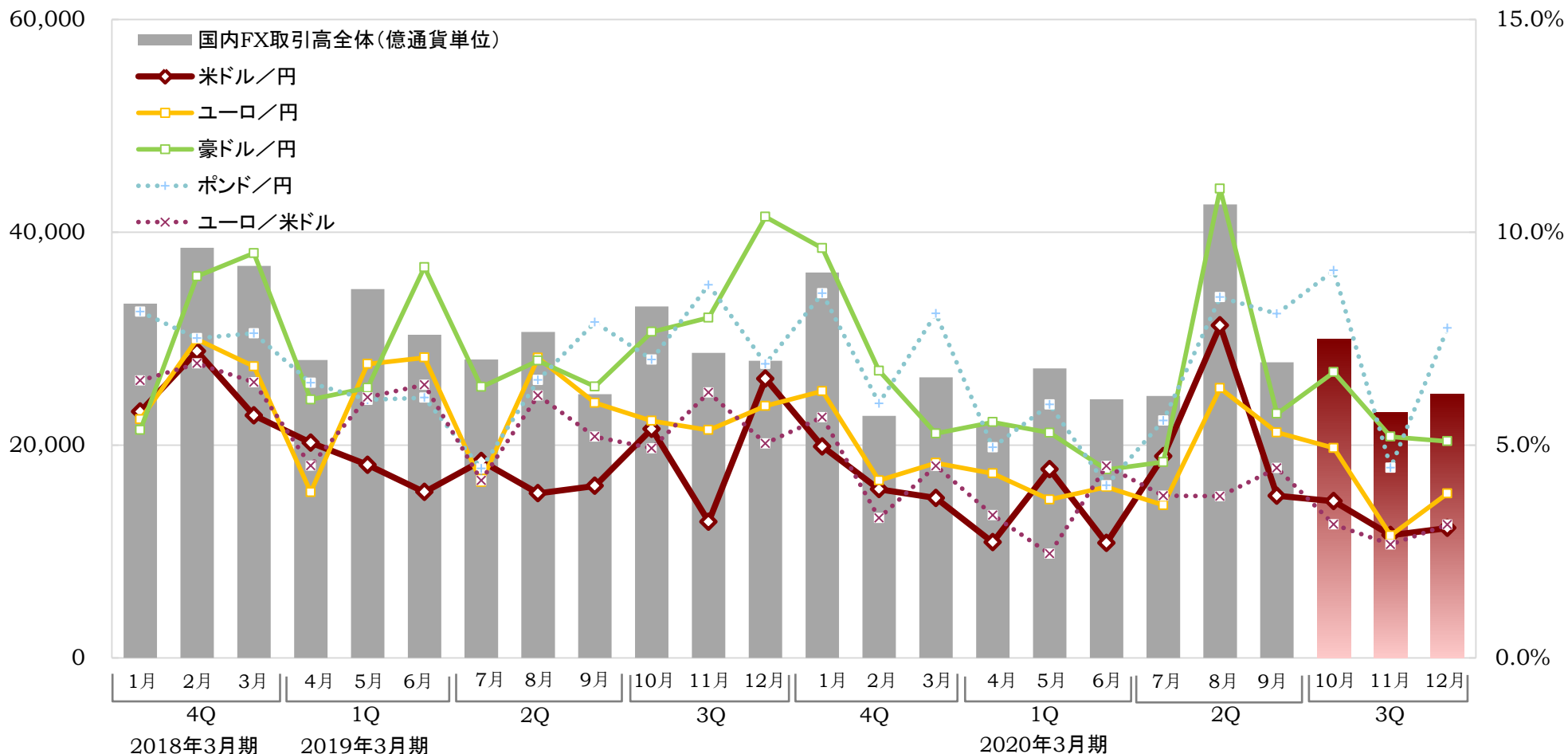


販管費



- 外国為替相場の変動率は英ポンドを除き総じて前四半期から低下。取引高は、米ドル／円が前四半期比50%以上減少する等、全体で401%の減少に。  
通貨別の内訳は、米ドル／円が42%と割合を下げた一方、英ポンド／円が18%と割合を高める。
- 相対的に収益性の低い米ドル／円の割合低下に加え、各通貨ペア毎の収益性も向上し、全体としての収益性は前四半期比大きく上昇。
- 取引高減少に伴い変動費が減少した一方、FX基幹システム更新やコイネージ(株)オフィス移転等の一時的要因等もあり販管費全体は前四半期比5.9%増加。

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



外国為替市場の変動率は再び低下し、2019年10月から12月にかけての米ドル／円の値動きは安値106円台半ばから高値109円台半ばと高安差3円強のレンジに。  
 この結果、四半期ベースの国内FX取引高は前四半期比約18%減少。



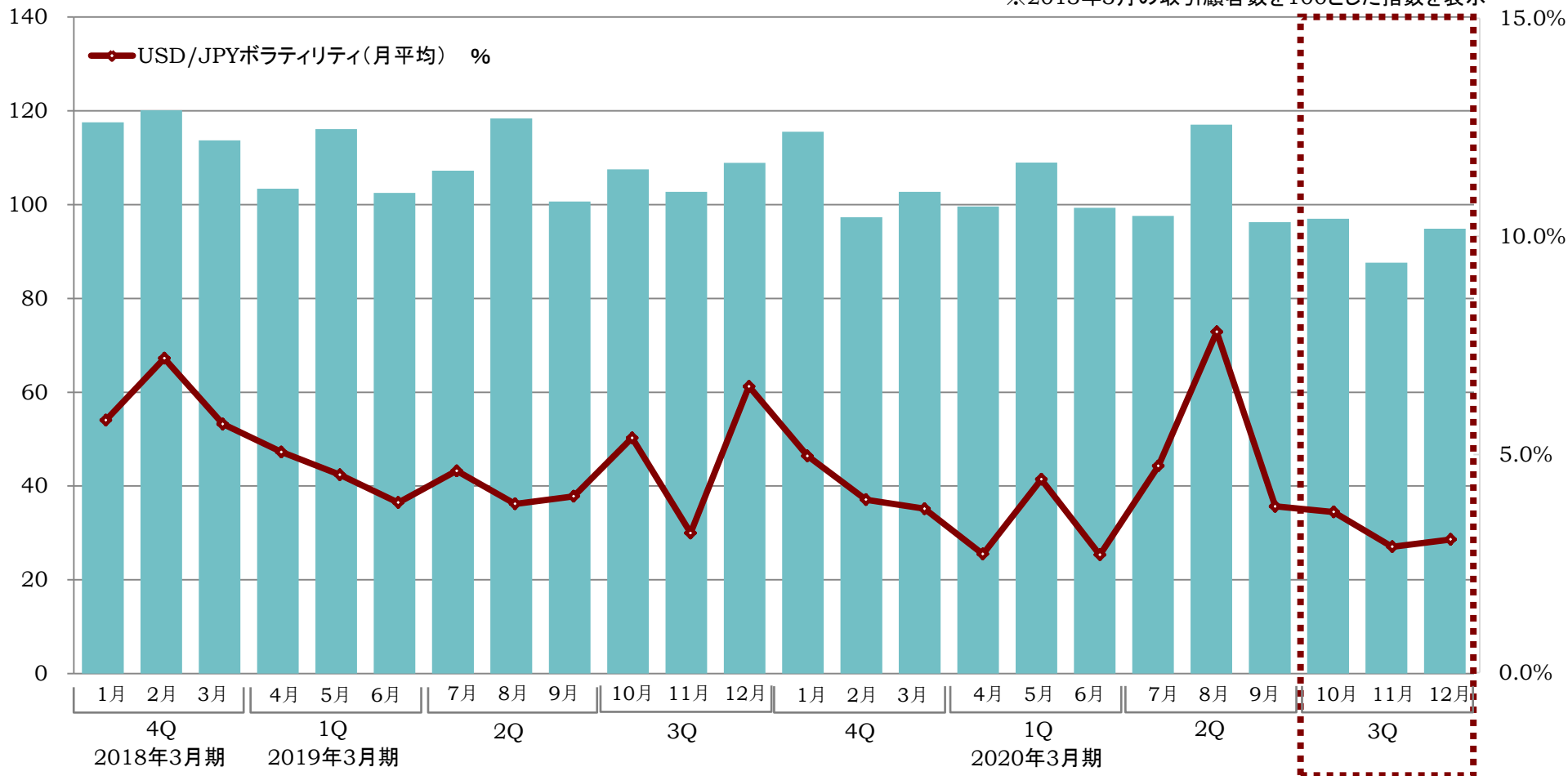


# 取引顧客数の推移

Money Partners Group

## ■ 当社FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



外国為替相場の変動率は前四半期比再び低下し、米ドル／円をはじめ方向感に乏しい相場の中取引参加者数は一段と低迷。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2018/3期	2019/3期				2020/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,615	1,534	1,716	1,460	1,519	1,305	1,396	<b>1,136</b>	▲18.6%
受入手数料	28	24	24	23	21	25	25	<b>17</b>	▲28.5%
トレーディング損益	1,529	1,403	1,500	1,327	1,389	1,161	1,287	<b>1,091</b>	▲15.3%
金融収益	14	18	18	23	21	24	16	<b>15</b>	▲4.4%
その他の売上高	41	88	172	86	86	94	67	<b>11</b>	▲82.4%
金融費用	46	45	45	46	48	50	47	<b>48</b>	1.0%
売上原価	25	73	152	72	73	76	54	<b>3</b>	▲93.2%
純営業収益	1,543	1,416	1,518	1,341	1,397	1,178	1,293	<b>1,084</b>	▲16.2%
販売費・一般管理費	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	<b>1,232</b>	5.9%
営業利益	373	274	397	217	281	75	129	<b>▲147</b>	—
経常利益	371	277	399	217	287	60	124	<b>▲148</b>	—
税金等調整前四半期純利益	371	277	349	217	306	60	124	<b>▲228</b>	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	254	188	223	141	219	38	57	<b>▲190</b>	—
営業収益経常利益率	23.0%	18.1%	23.3%	14.9%	18.9%	4.6%	8.9%	<b>▲13.1%</b>	

営業収益は、トレーディング損益の減少に加え、FX基幹システム更新に伴いシステム関連売上高の当社グループ内割合が高まったことからグループ外売上である「その他の売上高」が大幅に減少。

販売費・一般管理費の一時的要因による増加も相俟って2013年3月期2Q以来の営業・経常損失計上。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2018/3期	2019/3期				2020/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	410	368	344	390	362	349	359	<b>338</b>	▲6.0%
人件費	244	238	242	231	238	227	274	<b>261</b>	▲4.8%
不動産関係費	157	162	165	164	172	166	165	<b>182</b>	10.1%
事務費	227	238	238	217	212	227	225	<b>252</b>	12.0%
減価償却費	88	86	91	87	87	86	93	<b>148</b>	59.3%
租税公課	27	22	26	21	29	20	30	<b>28</b>	▲6.4%
貸倒引当金繰入れ	—	0	▲0	▲0	0	—	▲0	<b>▲0</b>	—
その他	13	24	12	10	11	23	14	<b>21</b>	43.9%
販売費・一般管理費合計	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	<b>1,232</b>	5.9%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	134	126	114	160	148	142	151	<b>147</b>	▲2.8%
システム関連費用(※2)	328	335	343	320	317	317	315	<b>346</b>	9.6%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

### <主な増減要因(前四半期との比較)>

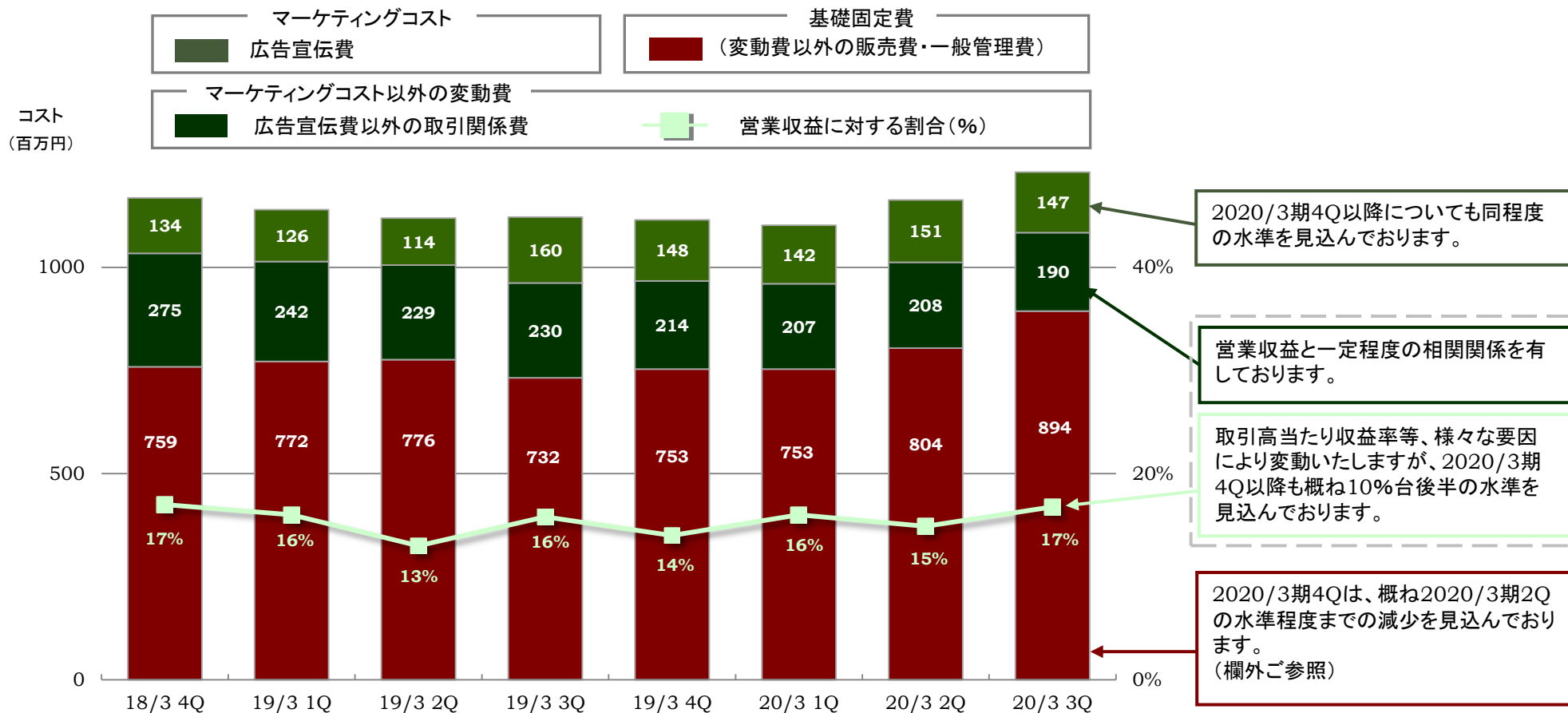
- 減価償却費(増加) : FX基幹システム更新に伴う新システム資産の償却開始
- 事務費(増加) : FX基幹システム更新に伴う新旧システム運用費用発生(一時的増加)
- 不動産関係費(増加) : コイネージ株のオフィス移転に伴う増加(一時的費用10百万円程度を含む)



# 四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



2019年7月にコイナージ(株)を子会社化したことに伴い、2020/3期2Q以降基礎固定費が増加し、その後、2020年4月(予定)の開業に向けての準備が進捗するにつれ、逡増することを見込んでおります。

新基幹システムについては、2019年10月完成し全サービスの移行が完了したことから、2020/3期4Q以降は旧システム運用費用が減少することが見込まれ、減価償却費を含むシステム関連の基礎固定費は、2Qの水準に戻る見込みであります。



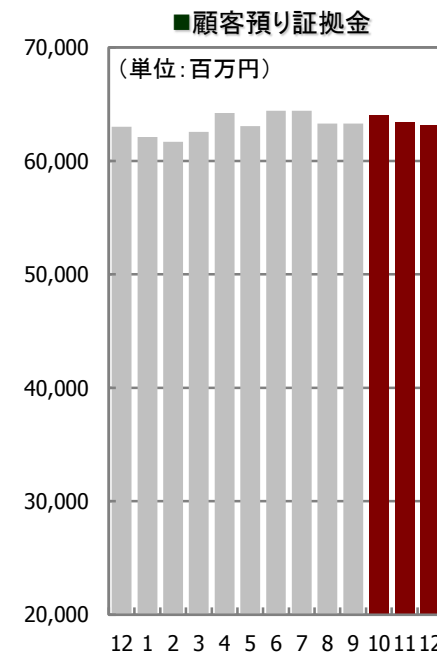
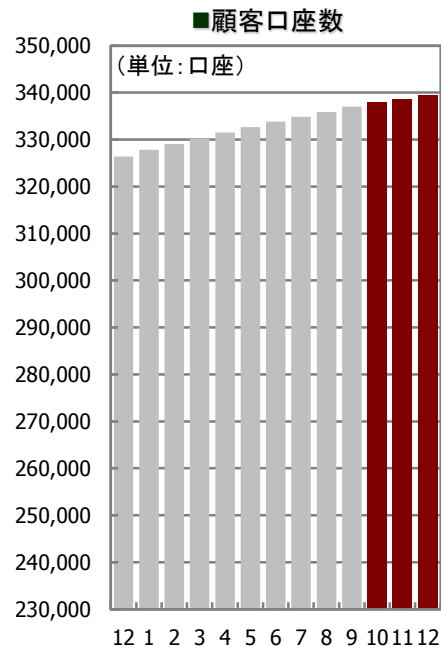
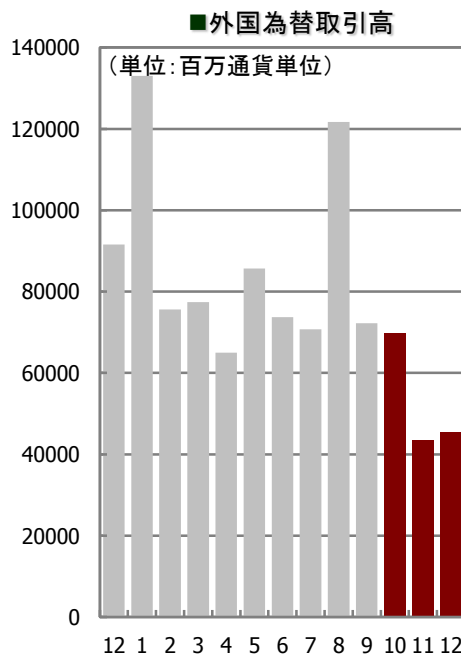
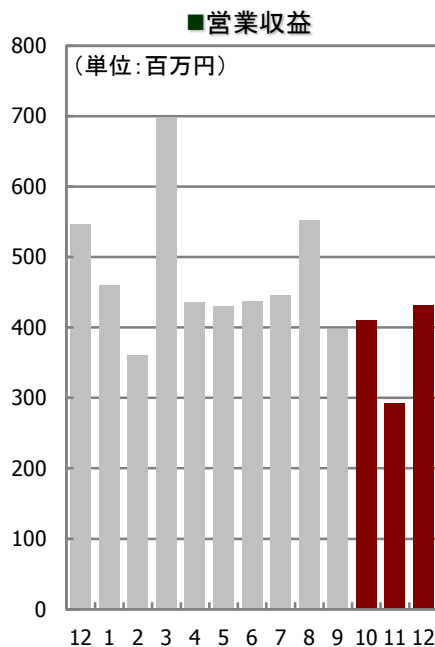
# 月次業績指標推移

Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2019/3期				2020/3期								
	12月	2019/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	547	460	360	698	436	430	438	446	552	397	411	293	432
外国為替取引高 (百万通貨単位)	91,536	133,017	75,614	77,410	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475
顧客口座数(口座)	326,421	327,859	329,061	330,230	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443
顧客預り証拠金(百万円)	63,000	62,097	61,685	62,557	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183
内、一般顧客(BtoB以外)	57,897	57,128	56,678	57,205	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

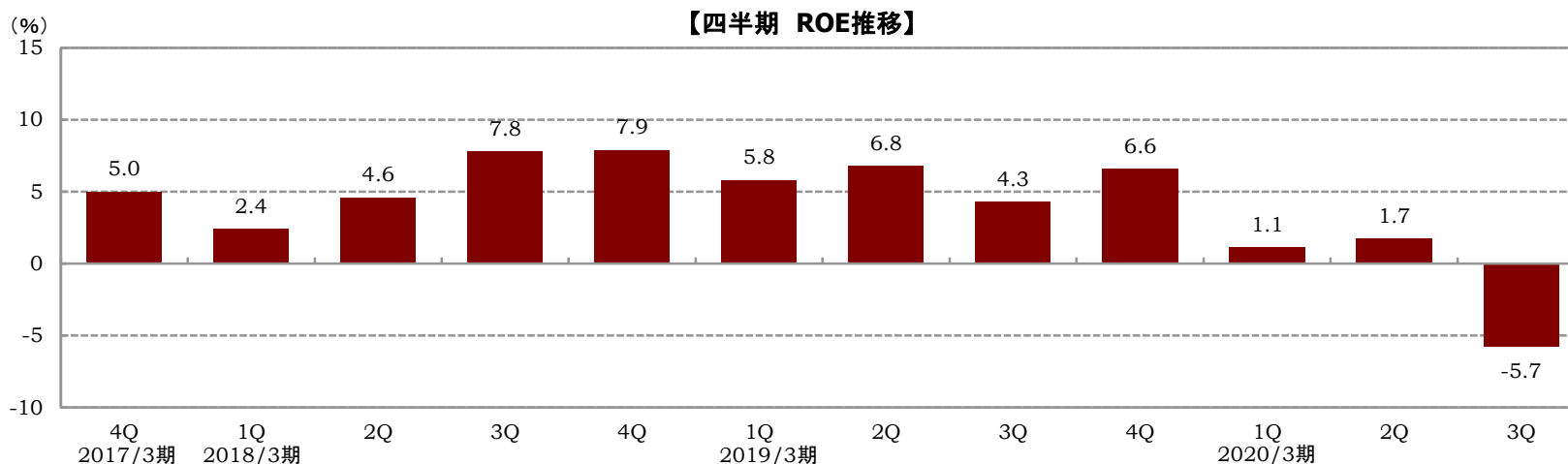




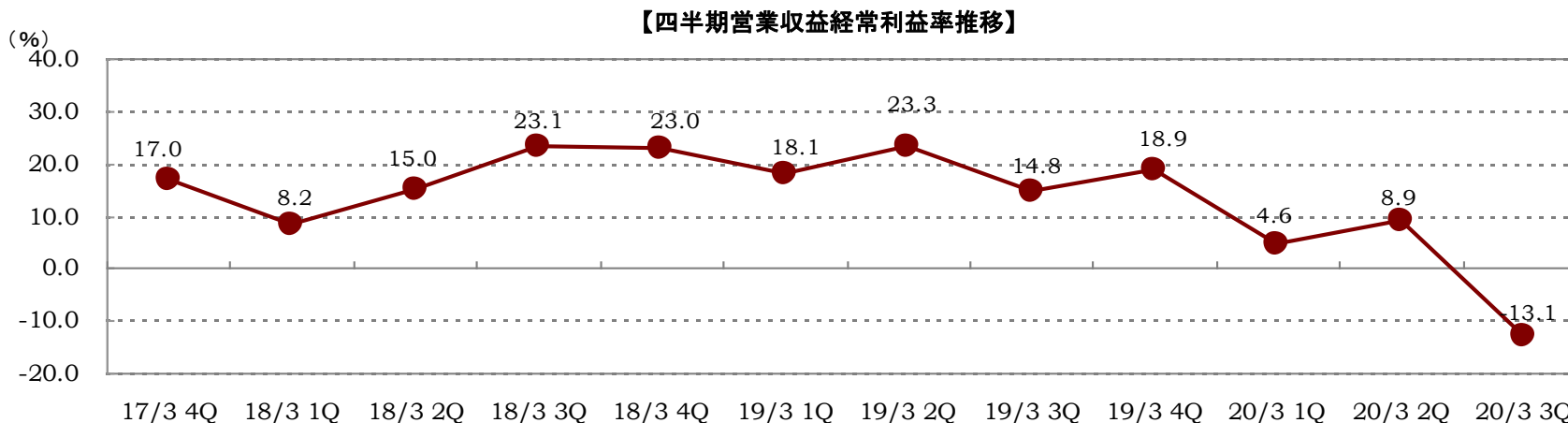
# 主要経営指標推移

Money Partners Group

## ROE及び営業収益経常利益率推移



※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$



## Ⅱ.2020年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況





# 当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

新たなビジネス・  
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

# 実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

# 顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

# 収益

- ★ 収益性の継続的改善





# 重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

## グループ全体大型投資プロジェクトの進捗

### FX新基幹システム（基幹システム全面更新）

2019年10月完成、旧システムからの切替も11月に完了

総投資額 1,929百万円

＜主な内訳＞

有形固定資産 449百万円 ……ほぼ全て前期より償却開始済

無形固定資産 1,479百万円 ……ほぼ全て3Q(2019年10月)より償却開始

基幹システムに係る減価償却費は、3Qに3ヶ月分をフル計上



4Q以降、基幹システム関連の減価償却費の大幅な増加は無い見込み

### 暗号資産

仮想通貨交換業登録のための準備を継続中

2020年4月サービスイン予定の計画には変更無し



# 重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

## システムリニューアルに伴う機能性向上（顧客向け）

FX

### 基幹システム更新に伴う取引ツールへの新機能追加

ターゲットメール通知機能

画面表示内容・操作性の改善





# 重点施策の進捗状況③

Money Partners Group

## マネパカードの利用拡大による採算改善

### マネパカード

### 口座獲得・利用促進のための各種キャンペーン

U25限定! 使ってみようキャンペーン

5,000円を10名様にプレゼント!

新規入会 学生旅行応援! キャンペーン

エントリー制

留学経験者が選ぶ 海外で使えるカード No.1

ビジネスマンが選ぶ 海外で使えるカード No.1

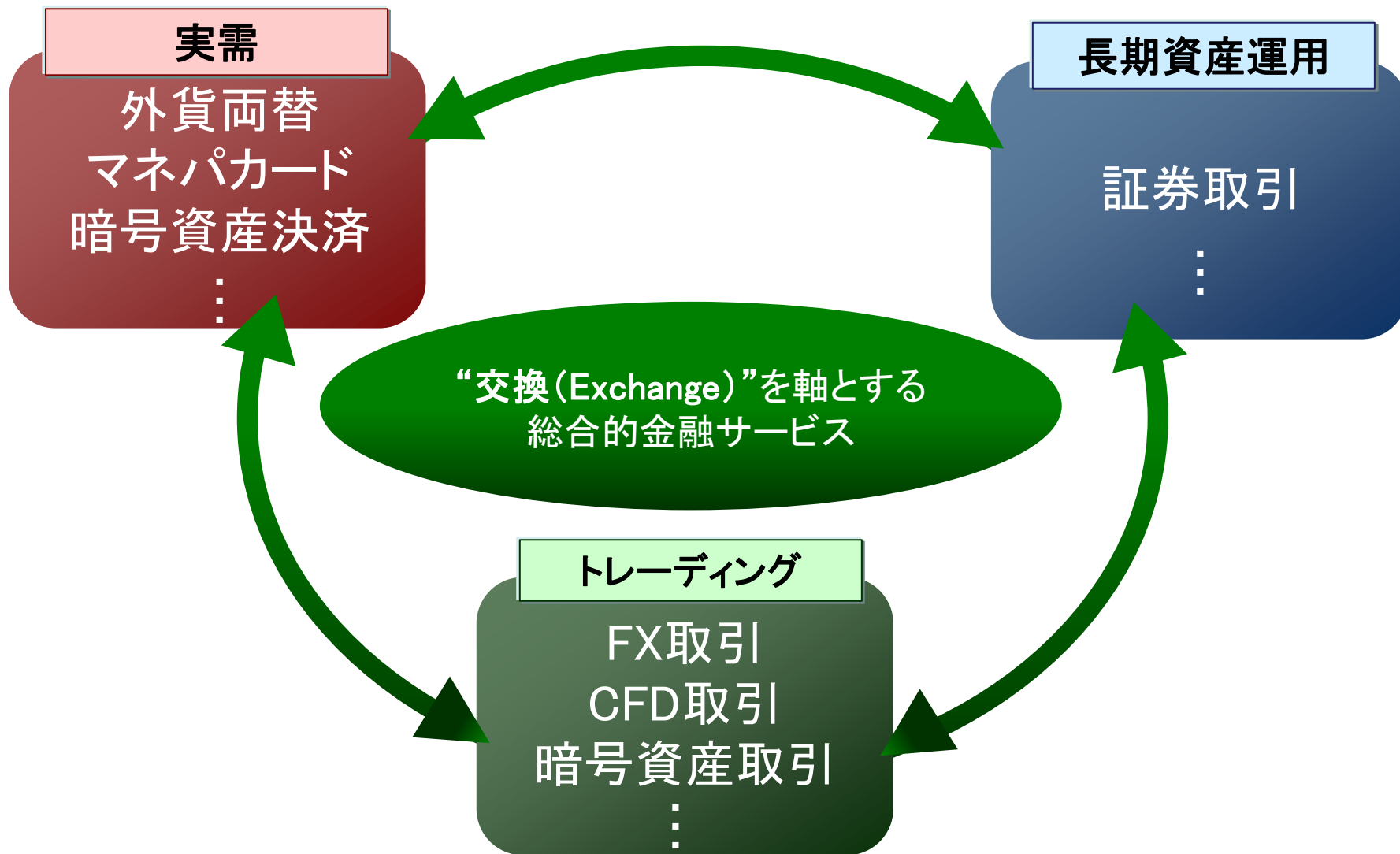
海外トラベラーが選ぶ 海外で使えるカード No.1

海外で使えるカード 3部門でNO.1を獲得

日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要:2019年10月期ブランドのイメージ調査

### Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





## IV. 当社の経営目標及び株主還元について





## ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2020年3月期第3四半期(2019年10～12月)のROEは▲5.7%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2020年3月期第3四半期(2019年10～12月)の営業収益経常利益率は▲13.1%**



# 株主還元について

Money Partners Group

## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	188	223	141	219	38	57	▲190	
上段:3ヶ月	188	441	553	772	38	95	▲94	
下段:累計								
配当金の総額 (百万円)	114		146		65			
期末発行済 株式総数(株)	33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	3.5円		4.5円		2.0円		未定
	年間	8.0円				未定		

※ 当期は、コインージ(株)子会社化に対応し、配当性向に使用する連結当期純利益に、同社の開業までのコストを除外した数値を用いる方針  
(安定配当実施の観点から、コインージ(株)子会社化に伴う減配要素を排除する趣旨)





# 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちのいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

# 2020年3月期第3四半期 決算説明会



**Money Partners Group**

株式会社マネーパートナーズグループ